

講義科目名称： 基礎助産診断・技術学演習

授業コード： 6630300600

英文科目名称： Practice in Basic Midwifery Diagnosis and Skills

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子 八巻ちひろ 上田恵 伊藤美由紀 篠崎博光 立木歌織 竹内崇 安藤智子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間
	【担当教員】	
	【氏名】 ◎常盤 洋子 八巻 ちひろ 上田 恵 伊藤 美由紀	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上
	【氏名】 篠崎 博光 立木 歌織 竹内 崇 安藤 智子	【所属】 群馬大学大学院保健学研究科 利根中央病院 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 筑波大学大学院人間総合科学学術院
	【大学の科目区分】 専門科目	

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産診断の概念と基本原理、科学的根拠に基づく助産過程を理解する 2. 助産診断を行うための系統的な情報収集とフィジカルイグザミネーションを理解する 3. 「産科診療ガイドライン」、「産科危機的出血の対応ガイドライン」の助産ケアへの活用を理解する 4. 「新生児救急蘇生ガイドライン」のエビデンスと蘇生法を理解する 5. 「周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド」のエビデンスと助産ケアへの活用を理解する 6. 養育者のアタッチメント理論を活用した子育て支援のあり方を探究する
------	---

授業概要	<p>助産診断の概念と基本原理、科学的根拠に基づくアセスメントや助産診断能力を修得する。妊娠期から育児期における母子とその家族を対象にした系統的な情報収集と助産診断を行うための知識・技術、思考プロセスを修得する。周産期医療、産科救急、周産期メンタルヘルスケアの実践の基盤となる各種ガイドラインを活用した助産診断・技術を学ぶ。また、妊産婦の主体性を尊重した切れ目のない支援を行うために必要な多職種連携・協働に必要なコミュニケーションに関する知識と技術を修得する。さらに、女性及び家族への生涯にわたる健康の継続的支援に必要な知識と技術を修得する。</p>
------	---

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：助産診断の概念と基本的理念、助産過程の展開 学習内容：助産診断の概念と基本的理念、助産過程の展開 備 考：常盤 2 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：フィジカルイグザミネーションの基本 学習内容：フィジカルイグザミネーションの基本 備 考：常盤 3 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：妊娠期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 学習内容：妊娠期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 備 考：伊藤 4 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：分娩期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 学習内容：分娩期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 備 考：八巻 5 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：産褥・新生児期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 学習内容：産褥・新生児期の助産診断とフィジカルイグザミネーション 備 考：上田 6 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：産褥期(メンタルヘルス)の助産診断とフィジカルイグザミネーション 学習内容：産褥期(メンタルヘルス)の助産診断とフィジカルイグザミネーション 備 考：常盤 7 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：乳児虐待発見のフィジカルイグザミネーション 学習内容：乳児虐待発見のフィジカルイグザミネーション
------	--

8	<p>備考：常盤</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：「新生児救急蘇生ガイドライン」のエビデンスと蘇生法</p> <p>学習内容：「新生児救急蘇生ガイドライン」のエビデンスと蘇生法</p> <p>備考：立木</p>
9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：「新生児救急蘇生ガイドライン」のエビデンスと蘇生法</p> <p>学習内容：「新生児救急蘇生ガイドライン」のエビデンスと蘇生法</p> <p>備考：立木</p>
10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：「産科診療ガイドライン」、「産科危機的出血への対応ガイドライン」のエビデンスと産科診療への活用</p> <p>学習内容：「産科診療ガイドライン」、「産科危機的出血への対応ガイドライン」のエビデンスと産科診療への活用</p> <p>備考：篠崎</p>
11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：妊娠期・分娩期における超音波診断法</p> <p>学習内容：妊娠期・分娩期における超音波診断法</p> <p>備考：篠崎</p>
12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド」のエビデンスと活用</p> <p>学習内容：周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド」のエビデンスと活用</p> <p>備考：竹内</p>
13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド」のエビデンスと活用</p> <p>学習内容：周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド」のエビデンスと活用</p> <p>備考：竹内</p>
14	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：養育者のアタッチメント理論を活用した子育て支援</p> <p>学習内容：養育者のアタッチメント理論を活用した子育て支援</p> <p>備考：安藤</p>
15	<p>授業内容</p> <p>授業形態：遠隔授業</p> <p>学習課題：養育者のアタッチメント理論を活用した子育て支援</p> <p>学習内容：養育者のアタッチメント理論を活用した子育て支援</p> <p>備考：安藤</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：助産診断と助産診断技術について、授業で学ぶ各種ガイドラインについて予習しておくこと</p> <p>事後学習：本科目で学んだ知識と技術を助産診断・技術学演習ⅠⅡⅢⅣの学習に主体的に活用すること</p>
評価方法、評価基準	筆記試験80%、課題20%
テキスト	日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会. 産婦人科診療ガイドライン産科編2020.
参考図書・資料等	我部山キヨ子・大石時子. アセスメント力を磨く助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版, 2018, 医学書院.
受講、課題、資料配布等のルール	授業で使用するガイドラインは各学会のホームページ等で調べて事前に学習しておくこと 授業では、指定したテキスト以外に各講師から提示された資料を使用する
教員からのメッセージ	助産師国家試験の出題基準、助産師国家試験問題集を手元に置き、授業内容と照合しながら学習を進めてください。
オフィスアワー	在室時には随時対応します。